

広 報

第 101 号

2021年5月

令和3年

のむら

発行人 区長 長井通好
 編集 広報誌編纂室
 事務局 TEL.0795-23-4639
 世帯数 2,952世帯(野村町)
 17,308世帯(西脇市)
 人口 7,281人(野村町)
 39,616人(西脇市)
 (5月1日現在)



野村公園。野村ではこの桜が一番、だと思う。
 例年なら花見の歓声が飛び交っているんだが、
 今年は愁い人がたった一人。

野村町区議会議長挨拶

二区町内会長 小西池 文夫



拜啓 向春の候、ます
 ますご健勝のこととお喜
 び申し上げます。

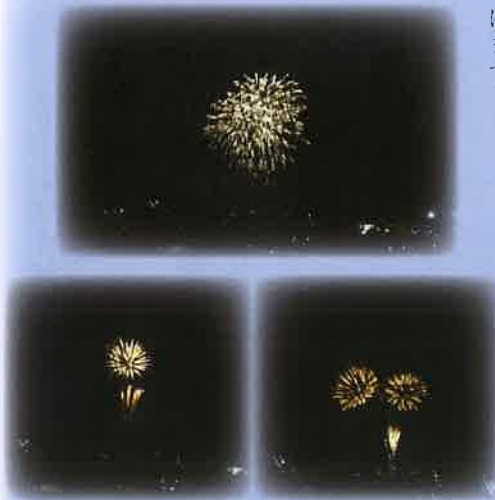
町内会長を受け皆様の
 ご協力により一年を迎えることができました。
 有難うございます。

令和二年度は新型コロナウイルス感染拡大
 により社会や学校等の行事が制限されること
 となり毎年楽しみにしていた高校野球が中止
 になり応援することができませんでした。

今年の四月からコロナウイルスワクチンの
 接種が始まりましたので、
 時間がかかるとは思いますがコロナが終息して
 いくと思います。

令和三年度は例年通り高校球児を応援でき
 ると楽しみに思っています。コロナ終息の為
 に気を付けて頑張っていきましょう。

令和三年度も皆様のご協力をお願い申し上
 げます。



(株)アクール提供の花火

2年目に向けて

野村町区長 長井通好

少し前までは山の木々の枝も枯れ枝状態でしたが、若葉が茂り新緑の頃となりました。今年度は例年のような活動ができるかと思っていたのですが、4月25日に3度目となる緊急事態宣言が発出される事態となってしまいました。

昨年度はコロナウイルス感染症蔓延のため町民の健康と安全ということを考え前期区費の徴収を取りやめました。そして、今までのような町民が一堂に会しての自治活動ができませんでしたが、その中で、町役員として今までなかなか手を付けにくかった公民館の耐震補強、改修、区費や町規約の見直しと言ったところを主眼にした取り組みを行ってきました。そして、耐震補強に関しては2月には活動結果としてそのデータをとり揃えることができました。その頃コロナ感染症者の数もぐんと減少したため、次年度の活動のため目標を設定するはこびとなりました。ところが皆様もご承知の通り感染力の強い変異株ウイルスの出現で感染者数が激増して状況が一変し、4月25日には3度目となる緊急事態宣言が再び発出され先行きが全く見通せない状態となってしまいました。感染力が強く重症化しやすい変異株ウイルス、コロナ慣れや気のゆるみのため、昨年度よりもたいへん悪い状況となっています。このような状況ではありませんが、今まで以上に住民の健康と安全に注意をはらいコロナウイルス感染症に対する対策を

できる限りしっかりと行い、先に述べました公民館の耐震補強と改修、区費及び町規約の見直しのため分科会を立ち上げてその実現を目指していきたいと考えています。それと、町の一時借り入れ金ですが、昨年度草刈り機械を購入した際に区長個人名では借り入れができませんが野村町の名前では資金の借り入れができないと言うことが判明しました。その為、この点につきましても野村町の名前で借り入れができるように改善していきたいと考えています。これからもコロナウイルス感染の広がり状態により自治活動が制限されるような状態が続くと思われるますが町民の健康と安全を第一に考えて町役員ワンチーム体制で取り組んでいきますので皆様もご協力のほどよろしくお願ひいたします。

(この文章は野村町総会時における区長の挨拶文をそのまま転載しました。)



今年も簡素な総会風景

野村町新役員紹介

(本年度改選分のみ)

交通安全委員会

支部長 吉川 良吉
会計 平松 徳彦

女性の会

会長 佐野 幸子
会計 藤本 まさ代

子ども会育成会

代表会長 一原 直之
会計 井上 善生

消防団野村部

部長 高橋 博生
会計 西山 顕市



令和3年度 野村町一般会計予算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収入の部 (単位:円)			支出の部 (単位:円)					
科	目	金額	科	目	金額	科	目	金額
款	項		款	項		款	項	
1 区 費	1 平等割	5,080,000	1 給与費	1 報酬	3090,000	9 公民館費	1 水道光熱費	800,000
	2 等級割	11,500,000		2 給与	1,500,000		2 備品費	300,000
	3 町外賦課金	450,000		3 手当	500,000		3 清掃費	200,000
	4 福祉観光賦課金	2,032,000		4 賃金	100,000		4 修繕費	1,000,000
	5 社会活動賦課金	3,048,000	計	5,190,000	5 保険料		100,000	
	6 環境衛生賦課金	1,778,000	2 事務費	1 通信費	200,000		6 管理費	100,000
	7 消防賦課金	1,270,000		2 消耗品費	200,000	計	2,500,000	
	計	25,158,000		3 印刷費	500,000	10 社会活動費	1 町づくり推進費	4,000,000
		4 事務機器関連費		400,000	2 各団体費		1,895,000	
2 使用料及び 手数料	1 公民館使用料	10,000	計	1,300,000	計	5,895,000		
	2 施設使用料	10,000	3 会議費	1 会議費	700,000	11 負担金	1 各種負担金	2,600,000
	3 手数料	200,000		計	700,000		計	2,600,000
計	220,000	4 寺社費	1 寺社費	400,000	12 渉外費	1 交際費	200,000	
3 補助及び 交付金	1 補助及び交付金		3,850,000	2 祭典費		600,000	2 慶弔費	500,000
	2 業務委託料		1,250,000	計		1,000,000	3 退職者記念品費	100,000
計	5,100,000	5 防災費	1 消防費	500,000	計	800,000		
4 寄 付 金	1 寄付金		300,000	2 防災費	500,000	13 交付金	1 交付金	2,800,000
	計		300,000	3 施設整備費	100,000		2 業務委託費	1,200,000
5 負 担 金	1 受益者負担金	200,000	計	1,100,000	計	4,000,000		
	計	200,000	6 土木費	1 土木費	3,800,000	14 積立金	1 積立金	5,000,000
6 繰 入 金	1 繰入金	500,000		2 賃金	250,000		計	5,000,000
	計	500,000	計	4,050,000	15 雑費	1 雑費	150,000	
7 雑 収 入	1 雑収入	227,965	7 広報費	1 広報費		200,000	計	150,000
	計	227,965		2 町史発行費	500,000	16 予備費	1 予備費	315,000
8 繰 越 金	1 繰越金	5,394,035	計	700,000	計		315,000	
	計	5,394,035	8 環境衛生費	1 防犯灯費	900,000	17 特別会計	1 負債借入金	500,000
合 計		37,100,000		2 環境整備費	400,000		計	500,000
				計	1,300,000	合 計	37,100,000	

三つの分科会について

右ページで区長が触れている分科会―分科会というのとは一つのテーマを決めて、それに専念する会議のことです―の補足説明をいたします。三つとも長年の懸案事項でありましたが、これまでは、喫緊の課題ではない、また恒例の行事・イベントに追われて先延ばしになっていたものですが、このコロナ禍で行事・イベントがなくなっているこの機会(?)をとら捉えて、話を進めようと前年度役員一致で決しました。

一つは公民館の耐震工事です。出ては消え、出ては消えした課題です。昨年まずこの公民館の現状を知るのが先、と全館調査をし、その結果はすでに出ています。あとはどこまでやるのか、及び膨大な費用の捻出、が重要な議題になるかと思われれます。この方面が専門の藤原敏伸副区長が担当します。

二つ目は区費の見直し。これも十年来の難問で、誰も火中の栗を拾おうとしなかったのですが、元井孝会計が使命感に駆られて手を上げてくれました。これには町内会の正副会長の協力が欠かせません。よろしく願います。

三つ目は町規約の見直し。前の改正から十年以上たつて、世の中の流れと合わない条項などがあるが見直すことにします。規約といっても、向う十年の町行政のいわば基本法みたいなものですから、慎重に検討いたします。担当は私、藤原和義副区長です。三つとも難題で、しかもそうそう集まらない状況下ですので、三人の任期中に決着を見るかどうかわかりませんが、少くとも方向性、道程は示したいと思っています。



① 今年の新入団員、足立さんと藤森くん。頼りにしてまっせ。



② ミライエのおもてなし、白井さんと長浜さん。



③ これはどこの梅だったか忘れた。



④ 加古川堤防の満開の桜。



⑤ 愛宕山には菜の花がよく似合う。



⑥ ここはいつもよく手入れがされています。



⑦ 一区の草焼き。梅田さん。



⑧ こちらは野間川の草焼き。比留田くん。



⑨ 茜が丘のさつき。見事なもんですよ。



⑩ 火炎放射器での草焼き。



⑪ 大池堤防の草焼き。カッコいいー。



⑫ 草焼きの監督、横山さん。

編集後記

副区長・広報 藤原 和義

去年の今頃は第一回の緊急事態宣言の発令中で、まあここまでやれば、年内には収束して、来年のゴールデンウィークには元の生活に戻るだろうと高を括っていました。一年に渡るコロナとの戦いがまだ続いています。

政府の決断の遅れ（少なくとも他の国と比べて）、国民の危機感の希薄さ（あの都会の人流を見よ。お前らアホか！）、そしてコロナそのものを甘く見たこと。敵は次から次へとさらに強力な援軍（変異株）を送り込み、押されっぱなし、撤退に次ぐ撤退という印象です。初め、ウイルスというのは毒性が強ければ感染力は弱い、感染力が強ければ毒性は弱い、などと言っていましたからね。ところが、毒性も感染力も強い株が出てきた。疫学者も甘く見ていた、ということでしょう。こちらの援軍（ワクチン）はまだ来ない。ここで持ちこたえなきゃいけない。いよいよ腹を据えての正念場だと思います。

いつかは終息するでしょうが、恐らく歴史に残るであろうこのパンデミックから何かを学んで世の中のシステムを変えなければ、多数の犠牲者も浮べられないだろうし、後世の人たちのせりしもまぬがれないでしょう。「お前たちはコロナ後をどう生きたんだ？」という言葉を投げかけられるような気がします。

今回、記事が少ないというのを言い訳にして、いつもの半分の量ですませましたことをお詫びします。